

地蔵菩薩ゆかりの九華山と黄山

こちらのコースでは、主に地蔵菩薩ゆかりの九華山と黄山を巡拝します。どちらも古くから聖山と崇められ、多くの仏教寺院が建立され、僧院があった場所です。両山の山頂からの景観は幽玄で美しく、雲が広がると幻想的な雰囲気になります。

1	各地空港 ⇒ 上海 → 屯溪 空路、上海へ 屯溪へ 【屯溪泊】
2	屯溪 → 黄山 黄山へ 玉屏ロープウェイにて玉屏樓へ行き、 迎客松や送客松、蓮花峰など黄山の美しい景観を眺望します。 雲谷ロープウェイにて黄山山頂へ 丹霞峰にて夕陽鑑賞 【黄山泊】
3	黄山 → 宏村 → 屯溪 早朝、獅子峰からのご来光をお楽しみください。 午前、引き続き黄山見学(黄山第2の高峰・光明頂、 太平ロープウェイにて翡翠池へ) 下山し、再び屯溪へ 途中、明清時代の古民家が残る宏村へ立ち寄ります。 【屯溪泊】
4	屯溪 → 九華山 地蔵菩薩の霊場・九華山へ 九華山参拝(九華山最古の化城寺、金喬覺の墓・月身宝殿、 九華山最大の伽藍がある祇園寺、甘露寺 無瑕和尚の墓・百歳宮など) 【九華山泊】
5	池州九華山空港 ⇒ 上海 ロープウェイにて天台正頂に登り、天台寺参拝 鳳凰松見学と東岸寺参拝 空路、上海へ 【上海泊】
6	上海 ⇒ 各地空港 午前、上海市内見学(豫園、龍華寺、外灘地区など) 空路、帰国の途へ 着後、入国手続き、税関の後、解散

九華山(中国仏教四大名山)

漢代には陵陽山と呼ばれ、南北朝時代の南朝梁と陳の時代には九子山と呼ばれました。唐代の詩人李白が749年に訪れ、「妙有分二氣、靈山開九華」と詠んだことから九華山と呼ばれるようになりました。

新羅の金喬覺和尚がこの地の化城寺で修行中、齢99で入滅した後、3年経って棺を開いて塔に奉安しようとしたところ、その顔貌が生前と全く変わることがなかったことなどから、地蔵菩薩とこの僧を同一視する信仰が生まれ、地蔵菩薩の霊場となりました。明代や清代に興隆を誇り、360以上の寺院に4,000~5,000名の僧侶がいました。



天台寺



九華山の風景

黄山

黄山の名は伝説上の王、黄帝がこの山で不老不死の靈薬を飲み、仙人になったといわれています。峰と雲が織り成す風景は、まさに仙人が住む世界「仙境」と呼ばれるに相応しいものです。多くの文人たちもこの黄山を水墨画や漢詩などの題材にしました。

黄山に立ち並ぶ山々は古生代にできたもので、氷河や風雨による岩石の浸食が1億年にわたって繰り返され、現在のような断崖絶壁の景観が出来上がりました。海から流れ込む湿った空気が海拔1,000m以上の峰々に漂い、大量の霧や雲を発生させています。三主峰と呼ばれる蓮花峰、光明頂、天都峰があり、その他69の峰があります。

中国人の精神的な拠り所となってきた黄山の周辺には、道教や仏教の修行の場として、多くの寺院が建てられています。



黄山の風景



黄山の風景

宏村

明清時代の歴史建築が数多く残る村落で、家々をめぐる水路が完全な姿で残っており、「牛」の形に例えられる村の配置は、徽州の村落の典型的な代表例となっています。建物は古代中国から受け継がれてきたレンガ造りや木造建築で建築され、高く評価されています。



宏村の風景

上海

中国の直轄市の一つで、中国最大の都市です。世界有数の世界都市でもあり、同国の商業・金融・工業・交通などの中心の一つとなっています。観光地としても有名で、豫園や上海博物館、龍華寺、外灘地区、新天地など見所も豊富です。



豫園



外灘地区の建物